

事業所名

みのり

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

5 月

18 日

法人（事業所）理念		「ふだんのくらし」を幸せにするを使命とし、明日へとつなぐ架け橋となります。 ニーズに合わせた「ふだんのくらし」を提供し、見守りあい、やさしさの行き交う地域づくりに貢献します。 「第2のおうち」として地域に根差した福祉事業所として、共生社会を目指します。									
支援方針		「楽しい」「ホッとする」「また明日ね」がお子様の心に芽生える空間づくりを方針とし、5領域をベースに様々なプログラムを提供します。 お子様の思いを尊重しながら、他者との関わり、活動を通して「わたしの未来」に向け、自主性、社会性を身につけていけるよう支援を行います。 医療的ケア児受け入れ施設としての安全確保面から医療機関との連携、事業実施に関連する各関係機関との連携を密に図り、総合的なサービスの提供に努めます。									
営業時間		9 時	0 分	から	19 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	延長利用可
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	健 康：看護師の常時配置による健康管理、医療連携先医師による定期訪問。 基本的な生活習慣：睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう決まった時間での誘導と支援を行います。 1日の流れは視覚支援を用いるなど、利用者様の分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことが出来るよう支援します。 食 育：クッキングの活動を通して食材、食べ物の役割を知ることによって食事の重要性、生命について知らせていきます。 お買い物：買い物をするための金銭の教え方、購入方法を知らせます。 その他、生活の中での課題を利用者様、ご家族様から伺い、個別支援として取り組みます。									
	運動・感覚	製作：集団活動や製作活動にて、視覚、聴覚、触覚等の五感を十分に活用できるよう、様々な体験を提供し支援します。 リトミック：専任講師による定期的なリトミックの時間を主にして、集団活動で体を使う課題を提供し、身体機能の維持・向上を図ります									
	認知・行動	色や数字、物品など様々な概念の獲得に向けて、利用者様の特性や能力にあわせた課題の提供を行います。 ご利用されるお客様が認知・理解しやすいように環境を整備し、緊張感やストレスを感じずに過ごせる空間を提供します。 様々な活動のなかから各感覚を刺激していきます。									
	言語 コミュニケーション	専任講師による定期的な学習指導、事業所スタッフによる毎日の宿題に対する支援、個々にあわせた課題の提供を行い、読み書き・学習能力の向上を目指します。 日々の活動、お当番制を通して、他者とのやり取りの場を提供し、適宜スタッフが支援を行い、コミュニケーション能力の向上を図ります 自身の思いに気づいたうえで、相手への伝え方、相手の気持ちに気づけるよう言葉をお知らせし、支援していきます。									
	人間関係 社会性	「きもち」を伝えながら、思いに寄り添った支援を行います。 ルール（お約束）が基盤となり、「たのしい」が派生していくことを知らせ、順番やルールを守る、気持ちを共有することから協調性、社会性を育む支援を行います。									
家族支援		連絡帳、SNSツールを利用し、連絡・連携を密に図るようにし、ご家庭での様子、事業所での様子を共有できるようにします。 家庭での困り感や支援について話せる、相談できる場を随時設けられるようにします。 ご利用予定日以外でも使える事業所内のサービス、その他福祉サービスの情報を共有します。				移行支援		各関係機関との連携を図り、情報交換を定期的に行います。 担当者会議、ケース会議などから包括的に支援できる体制を整えます。			
地域支援・地域連携		商店街への買い物、地域内のおさんぽなどを通して、事業所を知っていただくとともに地域イベントへ積極的に参加していきます。 パンフレット、SNS配信を定期的に行います。				職員の質の向上		定期職員会議、ケース会議の実施 連携ツールの活用 各研修への参加・報告会の実施 資格取得支援体制			
主な行事等		事業所内夏まつり、遠足（各長期休暇中）、福祉行事への参加・出店、季節行事イベント、スポーツ観戦Day、高齢者施設交流、地域イベント参加 歯科検診、内科健診（嘱託医の定期往診）									